

# 第 15 回山陽小野田市地域公共交通会議

## 議事録

平成 29 年 7 月 19 日 (水)

### 3. 協議事項

#### (1) 地域内フィーダー系統確保維持計画について

| 発言者 | 発言要旨   |
|-----|--|
|     | 地域内フィーダー系統確保維持計画について、事務局より説明   |
| 委員  | まず一つ目に、湯ノ峠・陽光台・山川線は松ヶ瀬・平沼田・不動寺原線と比較して非常に範囲が狭い。移動手段の少ない出合地区や福田地区に範囲を拡大することはできないのか。<br>二つ目に、厚狭地区と市民病院や労災病院、市役所等の小野田地区の主要箇所とを結ぶ路線が必要ではないか。デマンドではなく別の形態にはなると思うが、山陽小野田市全体を結ぶような乗換券や定期券を導入してほしい。 |
| 事務局 | 今回の計画は既存の 2 路線の計画であることをご理解いただきたい。新たなデマンドの設定等を今後行う場合は、これとは別に新しい路線の計画を作成することになるため、必ずしもできないということではないが、今回の計画においては難しい。  |
| 委員  | 昨年度の確保維持計画にあった「平成 28 年デマンド型交通の利用者を対象にアンケート調査を実施予定」の記載について、今回の配布資料「地域内フィーダー系統確保維持計画」6 ページの 17.利用者等の意見の反映状況にはその記載がないが、どうなったのか。   |
| 事務局 | 当初アンケート調査を検討したが、平成 28 年度はアンケート調査に代えて交通事業者である新興タクシーに利用者へのニーズ調査を行っていただいた。市としては新興タクシーとの意見交換の中で利用者のニーズを把握したという経緯がある。   |
| 委員  | アンケート調査ができなかった理由があるのか、意見交換を行ったためアンケート調査の必要がなくなったのか。  |
| 事務局 | 事業者との話し合いを持ってアンケートに代えさせていただいた。   |
| 委員  | 今回の計画は計画期間が 3 年であるが、毎年見直ししているのか。   |
| 事務局 | 毎年度作成している。目標等はある程度中期的な 3 年度の見込みを掲げているが、運行状況等に応じて、毎年度必要な変更を加えていくべきである   |

|       |  |
|-------|--|
|       | と考えている。  |
| 委 員   | 毎年ローリングしながら発展させているということか。  |
| 事 務 局 | 状況に応じて発展させ、継続すべきものは継続している。   |
| 会 長   | 毎年度出さなければいけないものなのか。  |
| 事 務 局 | 計画は毎年度作成しなければならない。変更の有無にかかわらず、毎年計画を国へ申請し、認定が受けられれば補助金を受けられるというものである。   |
| 委 員   | 期間は3年か。  |
| 事 務 局 | 毎回3年間である。  |
| 委 員   | この計画には作成日がないので記載が必要ではないか。<br>もう一点、フィーダー系統確保維持計画とあるが、これはデマンド2路線に限ったものではない。厚狭の別の地区や小野田地区について発展性がないように思う。       |
| 事 務 局 | 委員の意見をいただきながら検討し、議論を進めていきたいと考えている。今後、議論を経たのちに必要なものをフィーダー系統確保維持計画に加えていくという形をとっている。                            |
| 委 員   | すでに移動手段の確保に困っている地区はたくさんある。厚狭北部便2路線に限らず、別の地区についても早く計画に加えていただきたい。  |
| 会 長   | 厚狭北部便については、市全体の公共交通再編計画の中で先行的に行っているということをご理解いただきたい。  |
| 委 員   | デマンド交通のやり方は基本的に同じなのだから、他の地区もやってみればよいのではないか。<br>特に、薬学部設置に合わせて厚狭駅と理科大を頻繁に往復する便を設け、主要箇所のみ立ち寄るような効率的な路線にしたほうがよい。 |
| 会 長   | 路線バス以外をデマンド交通にするのではなく、循環バスのようなもの等を含めた検討を行っている。需要を把握するために試験導入なども取り入れながら、スピード感を持って市として取り組んでいきたい。               |
| 委 員   | 「地域内フィーダー系統確保維持計画」2ページの3に公共交通マップの作成とあるが、市全体の公共交通マップを作成することが厚狭北部便の利用増につながるのか。厚狭北部の2便にポイントを置いた当計画とは別物ではないのか。   |
| 事 務 局 | デマンド交通の周知が足りないという課題があり、情報発信のひとつとして書かせていただいた。ダイヤ改正や昇降場所の追加のタイミングで、対象地域への情報発信によりいっそう力を入れていきたい。                 |
| 閉 会   |  |